

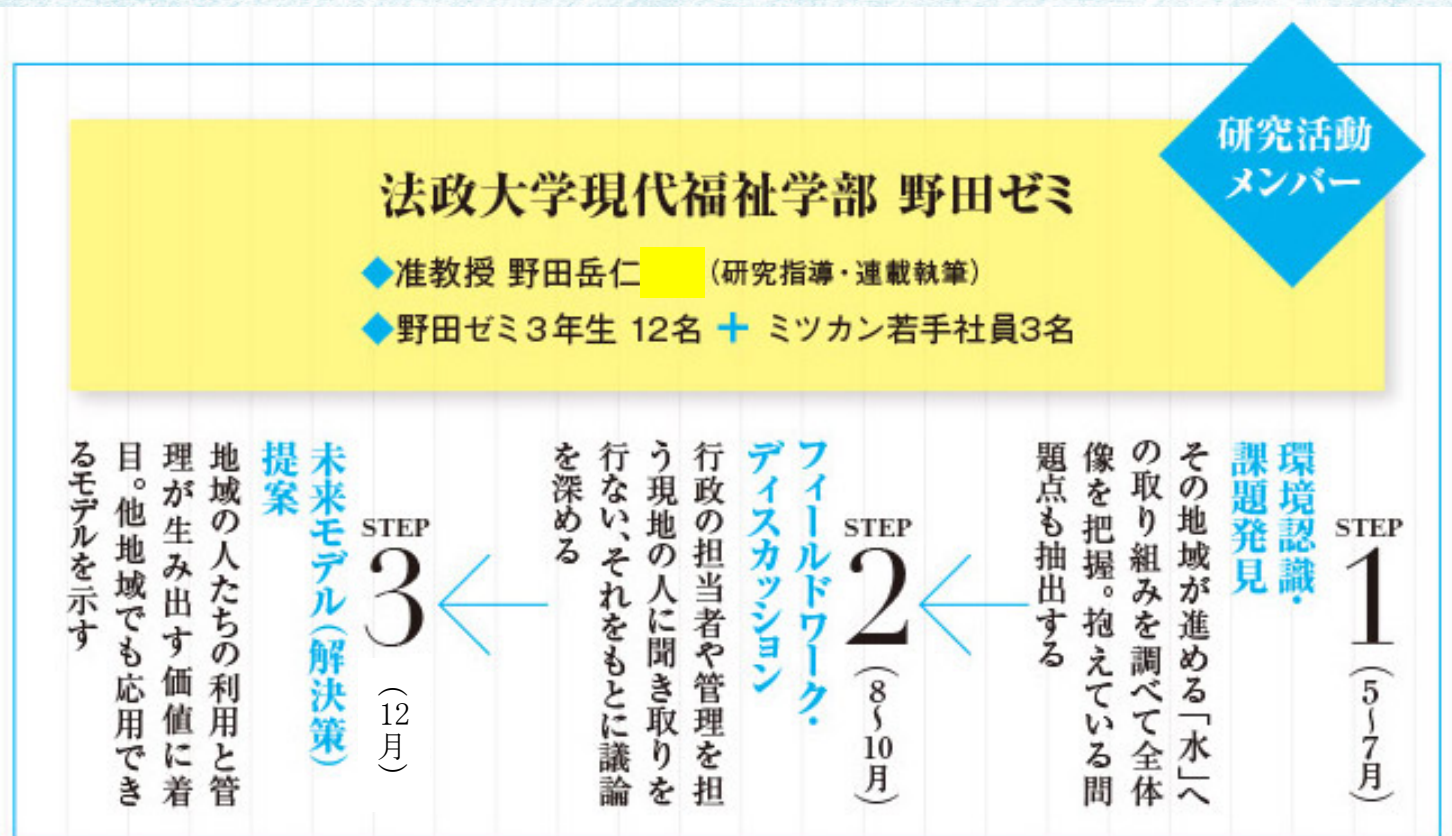
ミツカン × 法政大学

**みず・ひと・まちの未来モデル
政策提言発表会**

法政大学
野田岳仁ゼミ

研究プロジェクトについて

ミツカンと法政大学野田ゼミ（環境社会学）による「みず・ひと・まちの未来モデル」は地域が抱える“水とコミュニティ”の課題を、将来を担う若者がワークショップやフィールドワークを通じて、地域に提案するプロジェクト



（ミツカン水の文化センター『水の文化』68号より）

政策提言の狙い

松本市総合計画

基本構想 2030・第11次基本計画

5 都市基盤・危機管理

基本施策 5-7 緑を活かした魅力あるまちづくり

目標 (目指す姿) 緑や水辺などの地域資源を活かし、人々が集い賑わう、魅力あるまちを目指します。

現状と課題

施策の方向性

成果指標	指標	現状値	目標値 (R7)
中心市街地の新築に伴う緑化面積 (景観法第16条第1項)		—	6,000㎡
市民1人当たりの公園面積		14.66㎡	14.66㎡

・ 河川や井戸など、市民に身近な水辺を活かした憩いと安らぎの空間の創出が求められています。

・ 水辺を活かしたまちづくり

中心市街地において身近で貴重な自然環境である女鳥羽川、薄川などの河川や井戸などを、まちの賑わい創出に繋げ、水辺を活かしたまちづくりに取り組みます。

重点戦略

ゼロカーボン

- 中心市街地の緑化推進によるヒートアイランド減少の抑制
- 活用取組策の推進
- 公園施設等の長寿命化、省エネルギー化

DX

- 情報発信の強化、充実

・ 楽しいまち松本づくり事業 (花苗等の配布、オープンガーデン、フラワーコンテスト、記念樹交付、生垣設置補助事業など)- 市街地内における公共事業
- 公園整備事業
- 公園施設長寿命化事業
- 小鳥と小動物の森大規模改修事業

松本市公園施設長寿命化計画

水場を「憩いの場」にすることを目標

88 89

どうすれば水場を「憩いの場」にできるのか？

➤ 政策的なヒントをお示しすることを目指す

3つの井戸の位置付け

